

2025年度埼玉県立大学 大学院 入学者の選抜方針

2023年12月19日公表

埼玉県立大学

2025年度埼玉県立大学大学院入学者選抜（2024年度実施）の方針について、下記のとおりお知らせします。

なお、計画内容は届出予定であり、内容を変更する場合があります。内容を変更する場合は、速やかに本学ホームページでお知らせします。正式な試験実施方法や日程は、2024年4～6月に公表予定の【募集要項】でご確認ください。

記

I 入学定員及び募集人員

研究科	専修(専攻)	入学定員	募集人員				
			計	一般選抜		特別選抜	
				CNSコース	一般コース	学内推薦 (一般枠)	学内推薦 (DC1枠)
保健医療福祉学専攻	看護学専修	38名	15名程度	8名程度	7名程度		
	リハビリテーション学専修		13名程度		13名程度		
	健康福祉科学専修 (社会福祉分野) (健康情報分野) (検査技術分野)		10名程度		10名程度 (若干名) (若干名) (若干名)		
			博士後期課程	8名	8名		8名以内※

※学内推薦（一般枠）の2名以内を含む

II 選抜日程

区分	出願期間	試験期日	合格発表	入学手続期間
一般選抜	第1回 2024年7月22日(月) ～7月26日(金)	2024年 9月7日(土)	2024年 10月11日(金)	合格発表～ 2024年10月24日(木)
	第2回 2025年1月20日(月) ～1月24日(金)	2025年 3月2日(日)	2025年 3月12日(水)	合格発表～ 2025年3月24日(月)
特別選抜	学内推薦 (一般枠) 2024年7月8日(月) ～7月12日(金)	2024年 9月7日(土)	2024年 10月11日(金)	合格発表～ 2024年10月24日(木)
	学内推薦 (DC1枠) 2025年1月20日(月) ～1月24日(金)	2025年 3月2日(日)	2025年 3月12日(水)	合格発表～ 2025年3月24日(月)

Ⅲ 博士前期課程

1 博士前期課程 一般選抜

選抜は、筆記試験、面接及び提出書類を総合的に判定して行います。

(1) 出願要件

博士前期課程の一般選抜に出願できる者は、出願前相談をした上で、次のア～クのいずれかに該当する者。

また、日本の大学を卒業・修了せず、外国の大学のみを卒業・修了（見込みを含む）した者は、ア～クのいずれかに加えて【日本語資格要件】に記載のある①～②のいずれかを満たす者であること。

なお、出願は、年度につき1回とする。

- ア 学校教育法第83条の大学を卒業した者（又は2025年3月までに卒業見込みの者）
- イ 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）
- ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（又は2025年の3月までに修了見込みの者）
- エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（又は2025年3月に修了見込みの者）
- オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（又は2025年3月までに修了見込みの者）
- カ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日（※1）以降に修了した者（又は2025年3月までに修了見込みの者）
- キ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- ク 本学において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（2025年3月31日までに満22歳に達する者に限る）※2

※1 カで出願することを希望する者は、専修学校ごとに「文部科学大臣が定める日」が異なるので、文部科学省ホームページで確認すること。

※2 クで出願することを希望する者は、出願資格審査により出願資格の認定を受ける必要があります。出願資格審査を申請する場合は、次のいずれかの基準を満たすことが必要です。

ア 保健医療福祉に関する日本国内で取得した国家資格を有し、かつ、保健医療福祉の分野において出願資格審査申請の時点で2年以上の実務経験があること。

《保健医療福祉に関する国家資格の例》

看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床検査技師など

イ 短期大学、高等専門学校又は修業年限が2年以上の専修学校の専門課程を卒業し、かつ、保健医療福祉の分野において、出願資格審査申請の時点で2年以上の実務経験があること。

【日本語資格要件】

①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会とが主催する2010年度以降に行われた日本語能力試験（JLPT）のN1に合格した者。ただし事前相談で指導教員が認めた場合はN2でも可。

②独立行政法人日本学生支援機構が実施する次に掲げる日本留学試験（EJU）を受験し、いずれかの試験で日本語科目450点満点のうち280点以上を得点した者。

(2) 試験内容

試験科目等	出題内容
英語	TOEIC Listening & Reading Testの公式認定証の点数を評価
筆記試験	保健医療福祉全般に関する問題
面接	研究計画書、研究意欲等に関する質疑応答

(3) 配点

区分	試験科目・配点			
一般選抜	英語 100点*	筆記試験 100点	面接 100点	合計 300点

※TOEIC Listening & Reading Test の公式認定証の点数を換算します。

(4) 試験時間

選抜区分	試験科目等	試験時間	試験実施時間
一般選抜 (全専修共通)	筆記試験	90分	9:00 ~ 10:30
	面接	20分	11:00 ~ 17:00

※面接開始時間は試験当日に発表します。

IV 博士後期課程

1 博士後期課程 一般選抜

選抜は、面接及び提出書類を総合的に判定して行います。

(1) 出願要件

博士後期課程の一般選抜に出願できる者は、出願前相談をした上で、次のア～クのいずれかに該当する者。

また、日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者は、ア～クのいずれかに加えて【日本語資格要件】に記載のある①～②のいずれかを満たす者であること。

なお、出願は、年度につき1回とする。

学内推薦特別選抜（一般枠）と併願することもできる。

- ア 修士の学位又は専門職学位を有する者（又は2025年3月までに取得見込みの者）
- イ 学校教育法第104条第7項の規定により修士の学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）
- ウ 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）
- エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）
- オ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（又は2025年3月までに授与される見込みの者）
- カ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者、又は2025年3月末までに授与される見込みの者
- キ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）※1
- ク 本学において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月31日までに満24歳に達する者※2

※1 カで出願することを希望する者は、専修学校ごとに「文部科学大臣が定める日」が異なるので、文部科学省ホームページで確認すること。

※2 クで出願することを希望する者は、出願資格審査により出願資格の認定を受ける必要があります。出願資格審査を申請する場合は、次のアの①又は②のいずれかの基準を満たすとともに、イの基準を満たすことが必要です。

(ア) 次のいずれかの基準を満たすこと。

① 保健医療福祉に関する日本国内の国家資格を有し、かつ、保健医療福祉の分野において出願資格審査申請の時点で5年以上の実務経験があること。

《保健医療福祉に関する国家資格の例》

看護師、保健師、助産師、理学療法士、作業療法士、社会福祉士、精神保健福祉士、臨床検査技師など

② 短期大学、高等専門学校又は修業年限が2年以上の専修学校の専門課程を卒業し、かつ、保健医療福祉の分野において出願資格審査申請の時点で5年以上の実務経験があること。

(イ) 単著又は筆頭著者として執筆した査読付論文を2編以上執筆していること。

【日本語資格要件】

①独立行政法人国際交流基金と公益財団法人日本国際教育支援協会とが主催する2010年度以降に

行われた日本語能力試験（JLPT）のN1に合格した者。ただし事前相談で指導教員が認めた場合はN2でも可。

②独立行政法人日本学生支援機構が実施する次に掲げる日本留学試験（EJU）を受験し、いずれかの試験で日本語科目450点満点のうち280点以上を得点した者

(2) 試験内容

試験科目等	内 容
英 語	TOEIC Listening & Reading Testの公式認定証の点数を評価
面 接	研究計画書で記述した内容のプレゼンテーション及び質疑応答

(3) 配点

試験科目等・配点		
英語 100点※	面接 100点	合計 200点

※TOEIC Listening & Reading Testの公式認定証の点数を換算します。

(4) 試験時間

選 抜 区 分	試験科目等	試 験 時 間	試 験 実 施 時 間
一般選抜	面 接	25分	9：00 ～ 17：00

※面接開始時間は、試験当日に発表します。

2 博士後期課程 学内推薦特別選抜

選抜は英語の試験は免除し、提出書類による書類審査と面接で総合的に判定して行います。

(1) 出願要件

博士後期課程の学内推薦特別選抜に出願できる者は、一般選抜の出願要件を満たした上で、学内推薦特別選抜の一般枠については、次のア～ウとエ又はオに該当する者。また学内推薦特別選抜のDC1枠については、ア～ウ及びカに該当する者。

ア 本学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻博士前期課程を2025年3月までに修了見込みの者

※本区分への出願は、在学中1回限りとする。

イ 本学大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻博士前期課程の指導教員から推薦された者

※指導教員は、入試1回につき推薦できる者は、2人を上限とする

ウ 本学研究科（博士後期課程）に合格した場合に入学を確約できる者

エ 査読制度のある国際学術雑誌若しくは日本学術会議協力学術団体の発行する学術刊行物に掲載された筆頭の学術論文を有しているか、又は受理されていること（日本学術振興会特別研究員DC1の採用者枠は除く）

オ 国内外の学会、研究会、民間などによる研究助成金の獲得や、学会などで口述発表をした際の学会賞を受賞した者（ただし日本学術振興会特別研究員DC1の採用者枠は除く）

カ 日本学術振興会特別研究員（DC1）の採用内定者。（学術振興会研究員DC1の採用者枠のみ）

○エ～オ に関する審査基準（学内推薦特別選抜（一般枠））について
本学では、エ～オに関しては、以下の基準とする。

1) 国際誌に研究論文が掲載された者

国際誌の基準として

Web of Science, SCOPUS, DOAJなどの採録に審査があるデータベースに収録されている学術誌

□COPE : Committee on Publication Ethics(出版規範委員会)やOASPA : Open Access Scholarly Publishers Association(オープンアクセス学術出版協会)などの出版団体に所属している学術誌

- 2) 日本学術協力団体に加盟している学会誌へ掲載された者
- 3) 学会, 研究会や民間研究費を獲得した者
- 4) 国際学会や, 国内学会において, 学会賞を受賞した者

(2) 試験内容

試験科目等	内 容
書類審査	志望理由書、推薦書、成績証明書、(1) 出願要件のエ又はオの実績(一般枠のみ)を評価
面接	志望理由等提出書類、研究計画書で記述した内容のプレゼンテーション及び質疑応答

(3) 配点

試験科目等・配点		
書類審査	100点	面接 100点
		合計 200点

(4) 試験時間

選 抜 区 分	試験科目等	試験時間	試験実施時間
学内推薦特別選抜(一般枠)	面接	25分 + 5分	9:00 ~ 17:00
学内推薦特別選抜(DC1枠)			

※面接開始時間は、試験当日に発表します。

※一般選抜と併願する者の試験時間は5分です。

V 英語試験における TOEIC Listening & Reading の試験結果の利用について

博士前期課程・博士後期課程(学内推薦特別選抜は除く)とともに英語試験は、TOEIC Listening & Reading (TOEIC L&R) の公式認定証の点数を評価します。

(1) 利用できる試験結果について

2025年度の試験で利用できる TOEIC Listening & Reading (TOEIC L&R) の試験結果は以下のとおりとします。

第1回目選抜試験(2024年9月7日(土))

2022年7月~2024年7月実施分まで

第2回目選抜試験(2025年3月2日(日))

2023年1月~2025年1月実施分まで

(2) TOEIC L&R 試験結果の提出方法

ア~イのいずれかの TOEIC L&R の試験結果を提出してください。一度受理した TOEIC L&R 試験結果の差替え・取下げは認めません。また、期日までに TOEIC L&R 試験結果の提出がない場合は、辞退したものとみなします。

ア 公式認定証原本

イ デジタル公式認定証

※万が一、出願時に試験結果を提出できない場合には、TOEIC L&R テスト結果(スコア)画面のスナップショットを紙媒体で出力したもの(受験者氏名を記載のうえ)を提出してください。

なお、公式認定証原本等は、受験する試験当日までに必ず提出してください。

Ⅵ 日本語資格要件に必要な試験結果の利用について

日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者の出願要件として必要な試験の結果は、以下の期間を対象とします。(1) (2) いずれかの試験結果の提出が必要です。

(1) 日本語能力試験 (JLPT)

2010 年度以降に行われた試験結果

(2) 日本語留学試験 (EJU)

第 1 回目選抜試験 (2024 年 9 月 7 日 (土))

2022 年 11 月、2023 年 6 月、2023 年 11 月、2024 年 6 月実施分まで

第 2 回目選抜試験 (2025 年 3 月 2 日 (日))

2023 年 6 月、2023 年 11 月、2024 年 6 月、2024 年 11 月実施分まで

Ⅶ その他

- ① 博士前期課程の学内推薦特別選抜については、2023 年度学部入学者から対象としているため 2027 年度入試 (2026 年度実施) から実施します。今年度の募集はありません。
- ② 2025 年度入試から 出願前相談が、博士前期課程及び博士後期課程ともに、出願要件 (必須) となります。出願前相談については、第1回目選抜試験受験者は2024年5月1日(水)～6月14日(金)、第2回目選抜試験受験者は2024年12月2日(月)～12月23日(月)に実施します。

以上